

# PC建協だより

## 各発注者との 意見交換会始まる

7月17日の国土交通省九州地方整備局を皮切りに全国8地方整備局と北海道開発局及び沖縄総合事務局、さらに中日本高速道路株式会社・西日本高速道路株式会社の合計12の発注者と意見交換会が行われます。8月末までの状況は九州地整・北海道開発局・中部地整の3箇所、及び中日本高速道路(株)が終了しています。今後10月末にかけて残りの6地方整備局、沖縄総合事務局、ならびに西日本高速道路(株)と順次開催していく予定です。国土交通省との意見交換会は、PC建協の取り組みについての報告とPC建協からの提案を行い、地域に応じて内容を変えて行っていますが、概ね以下のような内容になっています。また、今年は自由討議の時間を設ける地方整備局もありました。

取り組み報告  
① PCの品質確保、既存ストックの



長寿命化に向けて

- ② PC建協の災害支援体制
- ③ 技能労働者の賃金等への取り組み提案事項
- ① 一括審査方式の効果的な導入を
- ② 保全・補修におけるPCの専門技術を効果的に活用する方策
- ③ 品質確保に向けた設計への専門技術を活かす方策
- ④ プレキャストPC構造の活用に向けた方策

## 平成25年度第1回 定時総会開催される

PC建協は、一般社団法人となつて初めて迎えた第1回定時総会が、5月16日アルカディア市ヶ谷私学会館において開催されました。則久会長は開会挨拶の中で、国土交通省より「技能労働者への適切な賃金水準の確保について」として要請があった件を、昨今の建設産業が置かれた厳しい状況を脱するためにも大変重要な取組みであると認識し、可能な限りの取組みを進めることを理事会で決議したと報告、会員企業への適切な対応を促しました。総会では、「平成24年度事業報告及び決算報告」が審議され、無事承認されています。

総会終了後開催した東京大学小澤一雅教授による特別講演「総合評価落札方式の現状・課題と将来展望」には、100名を超える会員が聴講し、その後の懇親会は、佐藤国

交省事務次官を始め数多くのご来賓の出席を得、盛会裏に幕を閉じました。



## 現場見学会開催

平成25年5月10日、土木系学生を対象とした現場見学会を開催しました。

参加者は、金沢大学理工学域環境デザイン学類4年生30名、石川工業高等専門学校環境都市工学科4年生37名、引率教員他8名の総勢75名で来場されました。

現場は、平成25年3月末に全線無料化された「のと里山海道（旧・能登有料道路）」の4車線化工事の一環で、石川県発注の内灘海浜橋（石川県河北郡内灘町・L1161m、PC3径間連続ラーメン箱桁橋）です。施工は、1工区をピーエス三菱・日本海建設JV、2工区をオリエンタル白石・麯香重機建設JVが担当しています。

本工事は、海岸線に近接かつ供用中の道路に隣接しています。また、当時の状況は、片持架設が完了しワーゲンを解体中、および側径間閉合部の施工中でした。

見学に先立って、PC技術全般の紹介、現場概要、塩害対策として使用されている材料のポリエチレンシース、定着装置、エポキシ樹脂塗装鉄筋の説明をしました。また、現場内では、パネル展示も実

施しました。

現場見学は、プレグラウト横締め鋼材やエポキシ樹脂塗装鉄筋が配置された側径間閉合部や、施工前の中央閉合部の状態、ワーゲンの解体状況を見学しました。特に桁内部の状況、施工目地のコンクリート打継ぎ面処理、ワーゲンの構造には興味を持たれた様子でした。



## 京都で国際会議 SCMT3が開催される

平成25年8月18日から21日にかけて京都リサーチパークにおいて第3回持続可能な社会と建設可能な技術に関する国際会議(3rd International Conference on Sustainable Construction Materials & Technologies)が開催されました。会議には、40ヶ国から約480名、技術展示には、17グループの参加があり盛況でした。

PC建協からは、国土技術政策総合研究所との共同研究、および土木研究所との共同研究に関する合計4編の論文発表を行いました。

技術展示では、土木研究所との共同研究「低炭素型セメント結合材の利用技術に関する研究」に関する活動内容、および「プレキャスト部材の使用による環境負荷の低減」に関する技術紹介のパネルやパンフレットを展示しました。

20日夜に開催された懇親会では、あでやかな舞子さんによる芸や英語による落語などの余興もあり「日本のおもてなし文化」に外国からの参加者も大変楽しんでいました。



懇親会



展示

## 平成25年度 第2回PC工事技能実習開催

平成25年6月11日から6月14日までの4日間、静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで第2回PC工事技能実習が若手技術者を対象に受講者19名で開催されました。

実習は緊張工とPCグラウト工の作業方法と品質管理方法、また測量工の基礎知識について行われました。受講者にとっては、PCケーブルの破断状況の確認やディテンション、PCグラウト実物大試験による充填確認など貴重な経験を積む機会になりました。



半透明シースにより高粘性型および超低粘性型PCグラウトの充填状況を目視確認している様子。

## 平成25年度第3回 PC建協業務報告会開催

7月18日アルカディアア市ヶ谷において、平成25年度第3回PC建協業務報告会を開催しました。この報告会は、三年前より「会員各社の共益の確保」を目的として、協会活動の成果を会員全体にフィードバックするため実施しているものです。今回は、新たな取り組みとして、支部や部会の活動を紹介するポスター展示、PC板等の模型展示も行っています。

当日は、国土交通省の前川道路局長のご挨拶の後、PC建協の4つの研究成果について報告を行いました。続いて、特別講演として「構造物の



会場風景



佐々木教授特別講演

デザインとは何か」と題して、佐々木葉早稲田大学創造理工学部教授にご講演いただきました。

参加者は、多くのご来賓をはじめ会員企業、賛助会員企業を含め、総勢176名となりました。

## グラウト施工マニュアルの改訂、グラウト研修会の案内

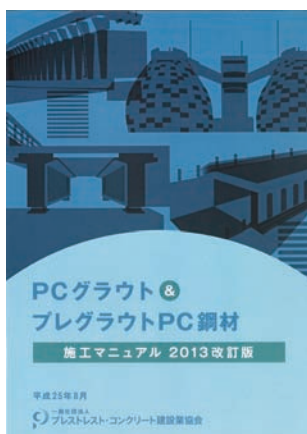
「PCグラウト&プレグラウトPC鋼材施工マニュアル」を7年ぶりに改訂し、8月に発刊しました。今回は、PC工学会「PCグラウトの設計施工指針」の昨年12月の改訂を受け、その内容に整合するようにしたものです。実物大試験の位置付けや、残留空気をより確実に排出させるための注入手順の標準化及び真空ポンプ併用PCグラウト施工法の解説等を新しく盛り込みました。本マニュアルを活用され、信頼あるPCグラウトの施工にお役立てください。

また、平成8年度よりグラウト施工技術の向上を目指して、グラウト研修会を開催しております。受講者には受講修了証を発行し、グラウト施工時には携帯することを申し合わせています。今年度はテキストとして使用する、前述の「PCグラウト&プレグラウトPC鋼材施工マニュアル」発刊後に開催を予定したため、例年より開催時期が遅くなりました。受講希望者は受講希望会場、日時を確認の上、申込ください。

### 各支部開催予定

- 北海道：平成25年9月20日（金）  
K R R ホテル札幌
- 東北：平成25年9月20日（金）  
ハーネル仙台
- 中部：平成25年9月28日（土）  
ウィルあいち
- 中国：平成25年9月24日（火）  
広島西区民文化センター

※受講には、受講資格が必要です。申込方法、受講料等、詳細は各支部事務局へお問い合わせください。



## 「PC工事に係る労務賃金改善等推進要綱」の策定

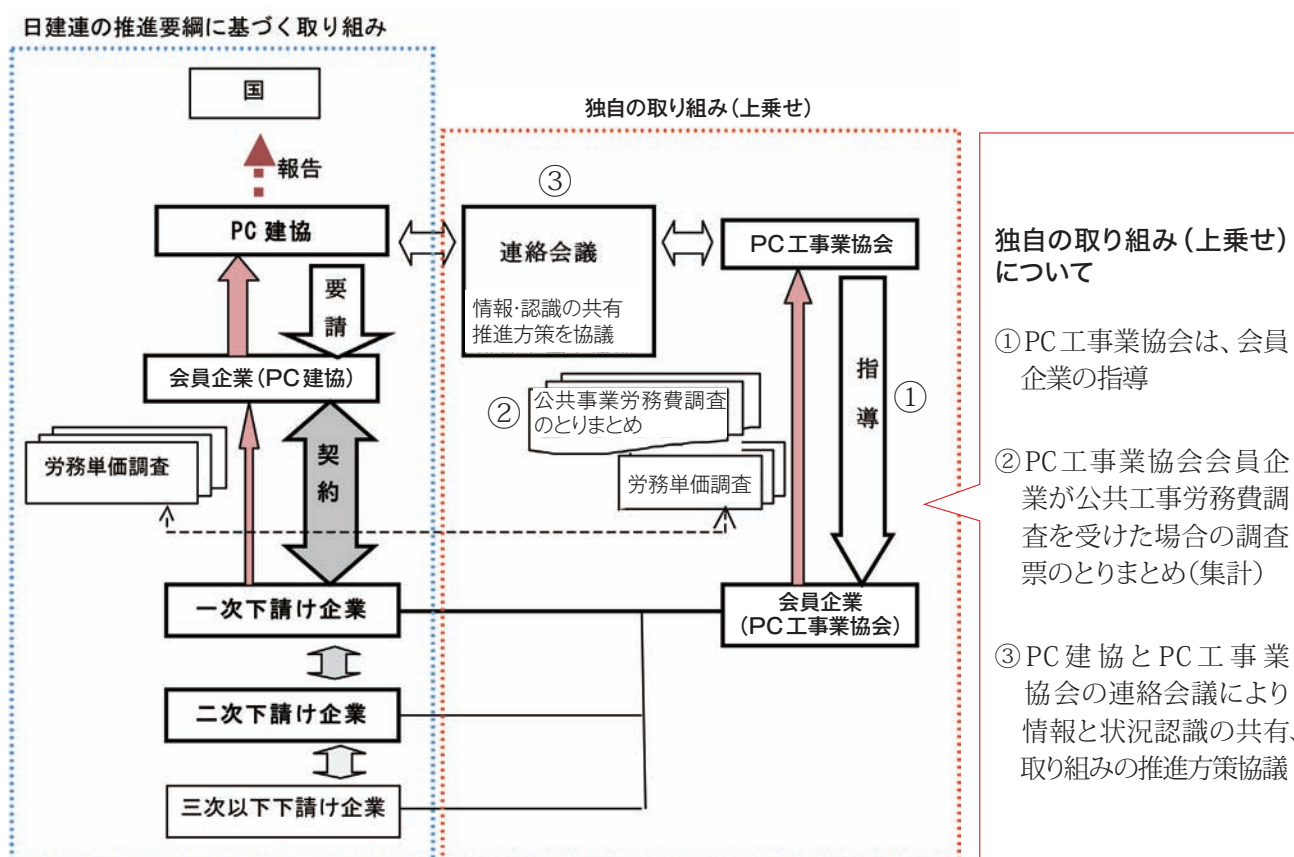
PC建協とPC工事業協会は、8月1日「PC工事に係る労務賃金改善等推進要綱」を定め、連携し推進していくことを発表しました。これは、PC工事における技能労働者の適切な賃金水準の確保及び適正な法定福利費の確保による社会保険の加入を促進するため、(一社)日本建設業連合会が取りまとめた「労務賃金改善等推進要綱」を基本に、PC建協とPC工事業協会の連携による独自の取り組みを加えて、推進することにしたものです。具体的には、会員企業に実施方法を示した要領書を配布し、適切な労務賃金の支払いの要請、労務賃金の改善状況を把握する状況調査、協力企業への社会保険等加入促進、適正な受注活動の徹底を行うこととしました。

また、PC工事業協会会員企業に対し、PC建協の取り組みに適切に対処するよう指導するとともに、労務賃金及び社会保険の加入状況についての全体動向を把握するため、公共事業労務費調査に基づく労務賃金等のとりまとめを実施します。

両協会では、「技能労働者の処遇等に関する連絡会議」を設け、情報・進捗状況の認識を共有するとともに会員企業への周知を含め取り組みの推進のための方策を協議することとしています。

### PC建協・PC工事業協会の「PC工事に係る労務賃金改善等推進要綱」の基本スキーム

平成25年8月1日 PC建設業協会・PC工事業協会



#### 編集委員会

木下 賢司(編集委員長)、 樫福 浄(編集副委員長)、 有馬 浩史、 竹本 伸一、 鈴木 義晃、 的場 純一、 松嶋 憲昭、 小山 康寛、 高松 正伸

#### 編集後記

「PC構造物の宝庫、沖縄」いかがでしたか。今回は、梅雨明けの暑い沖縄に行き、沖縄独特の気候に上手く対応した先人たちの知恵、ユニークで独創的なデザインを取り込んだ構造物等4件を紹介しています。どれも青い海、青い空が背景となり、前回のPC発祥の北陸地方とは違った印象になったと思います。

「PCのニューフェイスたち」では、平成24年度に完成した構造物のうち、選考会で白熱した議論の末、特徴ある14件に絞り込み紹介しています。PCプレスを通じてプレストレストコンクリートのファンが増えることを期待しています。(白)